

《 あなたの 守備範囲はどのくらい？ 》

ひとりひとりの守備範囲は違います。
大きな守備範囲の人、小さな守備範囲の人。

守備範囲が大きい小さいかは2番目の問題です。
1番大切な問題は

「現在大きい小さいに関わりなく自分のできる範囲を広げようとしているか」
ということです。

「自分で課題を見つけ新たな取り組みをする人」

「新たな役割を積極的に受け入れチャレンジする人」

「効率的に対応し新たな時間で利用者とのより深い関係を築こうとする人」

日々の一つ一つの場面において、このような姿勢を持って
取り組むことが大切です。



守備範囲を広げる努力！

